

ディーゼル車 排ガス計測結果（計測：信濃公害研究所）

測定結果比較

1. PM2.5の主要原因の、ばいじん総量が38%減

ばいじん濃度は12.5%減、ばいじん総量は排ガス総量と掛け合わせると38%減、

2. 硫黄化合物濃度（SOx）41%減

硫黄化合物濃度（SOx）は16.6%減、排出ガス総量と掛け合わせると41%減

3. 窒素化合物濃度（NOx）18%減

窒素化合物濃度（NOx）は濃度では15.3%増加したが排出ガス総量と掛け合わせて18%減

4. 排ガス温度13.3%向上

計測車両

三菱 デリカ 平成4年製 総排気量 2500cc

使用燃料 軽油（出光） オートマチック車両

計測条件

パーキングでアイドリング状態 エコマックス使用 2回目に計測

使用料 初回 燃料60Lに60ml 2回目 燃料40Lに20ml投入

	測定日	走行距離
エコマックス添加無	平成23年1月12日	110214Km
エコマックス使用時	平成23年1月31日	110681Km

計測結果

	エコマックス添加無	→	エコマックス使用時
1.ばいじん濃度 ばいじん量酸素補正值	0.008g/m ³ n	→	0.007g/m ³ n
2.硫黄化合物濃度(SO _x)	24ppm	→	20ppm
3.硫黄化合物排出量	0.0015m ³ n/h	→	0.0009m ³ n/h
4.窒素酸化物濃度(NO _x)	130ppm	→	150ppm
5.窒素酸化物量酸素補正值	130cm ³ /m ³ n	→	150cm ³ /m ³ n
6.水分量	2.0%	→	2.0%
7. 排出ガス温度	60℃	→	68℃
8.排出ガス流速	5.1m/s	→	4.0m/s
9. 湿り排出ガス量	65m ³ n/h	→	46m ³ n/h
10.乾き排出ガス量	64m ³ n/h	→	45m ³ n/h

排出ガス組成

	エコマックス添加無	→	エコマックス使用時
1.二酸化炭素(CO ₂)	2.9%	→	2.7%
2.酸素(O ₂)	16.9%	→	17.3%
3.窒素(N ₂)	80.2%	→	80.0%

解説

上記の結果から燃焼が大きく向上した事がわかる。

ばいじん、硫黄化合物濃度 (SO_x)、窒素化合物濃度 (NO_x) の 3 項目とも大幅に減少した。

排出ガス組成において大きな変化は見られないが排出ガス温度は 13.3%上がった。

組成 (%) において、二酸化炭素 (CO₂) が変化していないように見えるが燃焼の向上によ

って、排出ガスの総量が 29%減ったことと、燃焼向上の為に燃料が削減できると推測される

為、排出される二酸化炭素 (CO₂) の総量は大きく削減できる。添加前と添加後の計量証明

書を添付する。